

問題 2-3 (3)

$$K_4 = \{ (1), (13)(24), (12)(34), (14)(23) \}$$

K_4 (Klein's four gp.) は S_4 の S_3 に対する 左完全代表系?

$\Rightarrow \sigma \in S_4$ に対し $\underline{\sigma S_3}$ を考えたいときに

$\exists! k \in K_4$ s.t. $\sigma S_3 = k S_3$ が成り立つか? というのと

二つの「左代表系」が「完全」(代表系)であるということ!

pf. $\sigma \in S_4$ に対し $\exists! k \in K_4$ s.t. $\underline{k \sigma(4) = 4}$ が成り立つ。
左代表系!

☹ K_4 の元はそれぞれ

$(1) \dots 4$ が 4 にうつる

$(13)(24) \dots 2$ が 4 にうつる

$(12)(34) \dots 3$ が 4 にうつる

$(14)(23) \dots 1$ が 4 にうつる

よって元々から $\sigma(4) \in \{1, 2, 3, 4\}$ なのぞ、 $\sigma(4)$ の値に応じて、その値が 4 にうつるような K_4 の元が唯一つ定まる。

よって $k \sigma \in S_3$ ($\leftarrow 4$ を動かすのは $\{1, 2, 3\}$ の置換)

$\therefore \sigma \in k^{-1} S_3$ とする。この時実は $k^{-1} = k$ (☺ 合同変換)

なのぞ、結局 $\sigma \in k S_3 \quad \therefore \sigma S_3 = k S_3 \quad //$

Rem: 上の問題がもう少し進めると

「 K_4 と S_4/S_3 は合同か?」

という問題になる。これは準同型

$$f: K_4 \longrightarrow S_4/S_3 \quad \left(\begin{array}{l} \text{Well-defined} \\ + \\ \text{hom?} \end{array} \right)$$
$$k \longmapsto k S_3$$

を考へて。更に $\# K_4 = \# S_4/S_3 = 4$ であることばかりで、このぞ

f が全射である事が言えれば、 f は同型 i.e.

$$K_4 \cong S_4/S_3 \quad (\text{同じ構造を持つ})$$

ことばかり分かる。(もう少し後で...)